

東京大学教養学部 全学体験ゼミナール ラテンアメリカ音楽演奏入門2 成果発表コンサート

音のカリビアンクルーズ

Recorriendo Venezuela



サンバのブラジル、サルサで知られるキューバなど音楽豊かなラテンアメリカ。その中でベネズエラは未知の存在といえます。そこには、伝統音楽から都市音楽まで多様な音楽世界が広がっていたのです。ベネズエラをめぐる音の船旅にみなさまをお連れします

いま、ここにしかない、センセーショナルな音楽空間をお楽しみ下さい

2017
8/5(土)

開場 14時30分 開演 15時 終演 16時30分
東京大学駒場 | キャンパス18号館ホール
入場無料 予約不要

主な曲目：コーヒールンバ Moliendo café、村娘 Campesina
平原の魂 Alma llanera、グアヤナ・エス Guayana es、他

担当教員：石橋 純（東京大学ラテンアメリカコース教授） コーチ：モーリス・レイナ（ベネズエラ大使館文化担当官）
ゲスト：エストゥディアンティーナ駒場 主催：東京大学教養学部ラテンアメリカコース

Web : <http://estudiantinakomaba.com/index.html>



@EstudiantinaKom



@EstudiantinaKomaba

ベネズエラ各地をめぐる音楽の旅～ひと夏のバカンス～に見立てて、コンサートをお届けします。会場にお越しの皆さまは「カリブ海クルーズの乗船客」です。船は8月5日ベネズエラに寄港します。みなさまをベネズエラ各地の音楽でおもてなしするのは、東京大学「ラテンアメリカ音楽演奏入門」のゼミ生一同です。バカンスは非日常の祝祭的な時間である一方、過ぎてしまえば何事もなかったかのように日常に戻ってしまうという儚さも持ちあわせています。2017年夏、《いま、ここ》にしかないセンセーショナルなひとときを、ぜひ体感してください。

東大生が奏でる南米ベネズエラの調べ

「ラテンアメリカ音楽演奏入門」は東京大学教授・石橋純（ラテンアメリカ研究）が教養学部前期課程主題科目全学体験ゼミナールとして毎年開講するゼミです。南米の民衆に根づく4弦ギター「クアトロ」の演奏を中心にベネズエラ音楽の実技教習を行っています。楽器初心者から長年音楽と親しんできた人まで、さまざまな学生が参加しています。音楽実習とコンサート制作が大きな柱となっており、このコンサートで1学期を通して学んだ成果を発表します。

多彩な楽器とリズム

ヨーロッパ・アフリカ・カリブとさまざまな場所から流入してきた人々で構成されるベネズエラは、多様な音楽文化を持っています。国民音楽「ホローポ」やカーニバル音楽「カリプソ」から都市音楽まで多様なジャンルが存在し、伝統楽器も西洋楽器も使われます。ゼミで主に学ぶ「クアトロ」はギターの祖先が土着化した4弦の伴奏楽器で、低音弦が両側に來るのが特徴です。これに対して旋律を奏でる伝統楽器がベネズエラハーブ「アルパ」、マンドリンの祖先が発展した「バンドーラ」です。さらに超絶技法が発展したマラカスなど豊富なパーカッションが加わり、各ジャンル独特のノリを引き出します。



左からクアトロ、マラカス、アルパ、バンドーラ

演奏曲目

村娘 / Campesina (ホローポ)
星の涙 / Como llora una estrella (バルス)
アマリア・ロサ / Amalia Rosa (ゴルベ・ラレンセ)
グアヤナ・エス / Guayana es (カリプソ)
格別のアイスクリーム屋 / Un heladero con clase (メレンゲ)

我が平原は楽園 / Mi llano es un paraíso (ホローポ)
平原の魂 / Alma llanera (ホローポ)
コーヒールンバ / Moliendo café (オルキデア)
スンバ・ケ・スンバ / Zumba que zumba (ホローポ・レシオ)
満月のトナダ / Tonada de luna llena (トナダ)

Access

京王井の頭線 駒場東大前（東大口）より徒歩5分
JR線 渋谷、小田急線 代々木八幡より徒歩18分(タクシー1メートル)

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ estudiantina2013@gmail.com

